

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議

ロシアがウクライナに軍事侵攻し、民間人の被害が日を迫うごとに増え続けている。3月2日には国連総会緊急特別会合で、ロシアを非難する決議が141か国の賛成多数で可決された。反対はロシアやベラルーシ、北朝鮮など僅か5か国であり、国際社会の大多数の意思が示されたところである。

武力を背景として一方的に現状を変更しようとする侵略は、明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすものであり、断じて容認できない。また、プーチン大統領の核兵器の使用を示唆する発言は、断固として許すわけにはいかない。

ここに鳥取市議会は、ロシアによるウクライナへの侵略と軍事行動に対し最大限の抗議をするとともに、即時の攻撃停止と完全撤退を強く求めるものである。

政府におかれては、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと毅然たる態度でロシアに対し厳格な対応を講じられるよう強く要望する。

以上、決議する。

令和4年3月16日

鳥取市議会